

衆議院財務金融委員会ニュース

平成 21.1.9 第 171 回国会第 1 号

1月9日（金）、第1回の委員会が開かれました。

1 国政調査承認要求に関する件

- 以下の事項について、国政調査承認要求をすることに協議決定しました。

財政に関する事項

税制に関する事項

関税に関する事項

外国為替に関する事項

国有財産に関する事項

たばこ事業及び塩事業に関する事項

印刷事業に関する事項

造幣事業に関する事項

金融に関する事項

証券取引に関する事項

2 平成 20 年度における財政運営のための財政投融资特別会計からの繰入れの特例に関する法律案（内閣提出第 1 号）

銀行等の株式等の保有の制限等に関する法律の一部を改正する法律案（柳澤伯夫君外 8 名提出、衆法第 1 号）

- 中川財務大臣並びに提出者柳澤伯夫君（自民）からそれぞれ提案理由の説明を聴取しました。
- 中川財務・金融担当大臣、与謝野国務大臣（経済財政政策担当大臣）、竹下財務副大臣及び政府参考人並びに提出者大野功統君（自民）、野田毅君（自民）、柳澤伯夫君（自民）及び山本明彦君（自民）並びに参考人に対し質疑を行いました。
- 中川正春君外 3 名（民主）提出の に対する修正案について、提出者松野頼久君（民主）から趣旨説明を聴取しました。

（参考人）日本銀行理事 山本謙三君

（質疑者及び主な質疑内容）

越智隆雄君（自民）

- 銀行等保有株式取得機構を活用することとした趣旨及び買取上限額を見直した理由は何か。
- 公的機関による株式市場への介入が公正な株価形成を損なうとの意見に対して提出者はどう考えるか。
- 財政投融资特別会計の金利変動準備金の準備率を変更した理由は何か。また、その額を超えてまで一般会計に繰り入れることとした理由は何か。

鈴木馨祐君（自民）

- 金利変動準備金から一般会計への繰入を認めることとした理由は何か。
- 金利変動準備金の準備率を引き下げた理由は何か。また、準備率変更の際に利用したシミュレーションの前提条件を説明してほしい。
- 金利変動準備金を今後も柔軟に運用する必要があるの

ではないか。

石井啓一君（公明）

- 与党において検討されている「給付つき税額控除」の導入について、中川財務大臣の見解を伺いたい。
- 銀行等保有株式取得機構による株式の買取資金についての政府保証枠 20 兆円はどのような根拠で算定されたのか。また、銀行等のニーズはどの程度あるのか。
- 財政投融资特別会計以外に、一般会計に繰り入れて活用することができる積立金はあるのか。

鈴木克昌君（民主）

- 金利変動準備金を一般会計に繰り入れて活用する方向に方針を変更したのはなぜか。また、準備率を廃止して、弾力的な活用ができるような仕組にするべきではないか。

- ・定額給付金は政策目的や経済効果が明確でないため、財源 2 兆円は他に国民が望む政策に有効に活用すべきではないか。
- ・平成 21 年度及び 22 年度予算において、基礎年金の国庫負担割合引上げのための財源として、金利変動準備金を活用する方針なのか。

階 猛君（民主）

- ・生活支援としての定額給付金について、高額所得者の受給辞退をどのように考えるか。
- ・金利変動準備金を生活対策の財源として活用することに対して与謝野大臣の認識を伺いたい。また、使い道として妥当だと考えるか。
- ・銀行等保有株式取得機構による株式取得を再開する理由は何か。また、対象を銀行と持ち合い関係にある事業者に限定する理由は何か。

佐々木 憲 昭君（共産）

- ・米国発の金融危機に対する中川大臣の現在の認識を伺いたい。
- ・銀行等保有株式取得機構が取得した株式の売却実績を伺いたい。また、同機構による株式取得及び売却の意志決定権を持つ運営委員会の構成委員に、銀行の頭取が含まれていることの正当性を示していただきたい。